芙蓉会社内報　　平成28年6月号

やすらぎ

医療法人社団 芙蓉会
ふよう病院　デイサービスふれあいルーム
芙蓉ミオ・ファミリア町田　千葉芙蓉病院
グループホームあおぞら　きゃらの樹ケアセンター

理事長挨拶

医療法人社団　芙蓉会　理事長　四ケ所　大

先日、ある経営者の話をお聞きする機会がありました。創業者としての苦労話に感銘を受けましたが、特に印象に残っていたのは「対応の変化と発想の転換」という部分でした。時代によって要求されるニーズについては、常に敏感に対応し、変化が必要だということ。そして、過去の経験から生まれる固定観念に固執せず、発想の転換により新しい考え方、答えを見つけること。現在我々の置かれている業界の状況にあてはめた時に、「対応の変化＝ご利用者様のニーズ」「発想の転換＝提供するサービスの転換」が実現できているのか。業界に身を置く者の一人として、地域のニーズにお応えする運営方針の重要性を改めて認識した次第です。

去る 6 月 1 日に「第 1 回社会保障審議会療養病床の在り方等に関する特別部会」が開催されました。これは、昨年度までに開催されておりました検討会に変わり、介護療養病床が 2017 年度末に廃止されることから、具体的な制度設計について年内までに取りまとめるための部会であります。私共の法人においては、この介護療養病床の廃止だけでなく、同時期に介護保険、診療報酬のダブル改定（2018.4）が重なる現実を注視し、現在準備をしております。有識者の方々が参加されている中での部会であり、期待したい部分もありますが、一部の組織、会社、集団では常識であっても、見方によっては、非常識だと思われる事が多々あるということです。つい先日起きた某知事の一件を見ていても、常識とは何なのかと改めて考えさせられたように。最終的には、ご利用者様、事業者側双方にとって納得のいく結果となってほしいものです。

お知らせ

小川・鶴間の地番区域における住所整理の関係で、7 月 18 日より、芙蓉会の住所が変わります。
新住所：〒194-0005
東京都町田市南町田 3-43-1

「老人は国の宝」

医療法人社団　芙蓉会（事業所一覧）

- ふよう病院
- 芙蓉ミオ・ファミリア町田
- グループホームあおぞら
- デイサービスふれあいルーム
- 千葉芙蓉病院
- きゃらの樹ケアセンター
- 千葉芙蓉ハーモニー
- 千葉芙蓉ステーション

薬局長　一ノ瀬　幸代

私たちふよう病院薬局では、患者様やご家族様に安心かつ安全な薬物治療を提供するために、日々努めています。

ところで、薬の名前はどうやってつけられているか、皆様はご存じですか。最近は、ジェネリック医薬品（後発医薬品）という言葉をよく耳にすると思います。安価で良いけれど、ジェネリック医薬品に変更したとたん、長いカタカナの名前になってしまい、自分の服用している薬の名前を覚えられない方も、なかにはいらっしゃるのではないでしょうか。

医薬品には､「一般名（成分名)」と「商品名（ブランド名)」の２つの名前があります。最近のジェネリック医薬品は一般名で命名されていますが、先発医薬品はメーカーが好きに商品名を決められます。例えば､「タミフル」は「タミ」は原薬名〔オセルタミビル〕と「フル」は〔インフルエンザ〕を足したもの。「乾燥酵母エビオス」はビール酵母の研究が恵比寿で行われていたことから命名されたようです。ご自分が服用している薬の名前の由来を調べてみると、もっと薬に愛着がわくかもしれませんね。

人事育成室　阿部　真一郎

本年４月より、千葉事業所の人事育成室、経営企画室を担当しています。微力ではありますが、各事業所の責任者と共に連携を図り、法人運営に尽力して参りたいと思っております。

さて、人材不足と言われる医療介護業界ですが、当法人でも人材確保には苦慮しています。医療介護現場で働いている私たち職員は、ご利用者様の「笑顔」「喜び」にやりがいを見出して一生懸命に勤務していますが、残念ながら介護業界を去っていく人も少なくありません。法人として、ご利用者様の「笑顔」だけでなく、働く職員にとっても「笑顔が絶えない職場」や「働きやすい・働きたい職場」と言ってもらえるような職場となるよう、継続して労働環境の整備や規則規定等の見直しを実施し、働きやすく魅力ある職場を目指していきたいと考えております。

ところで、2020 年には 65 歳以上の人口が約 3600 万人になると言われています。介護を受けたい高齢者は、いったいどこで介護を受けられるのでしょうか。皆様に必要な医療介護を受けていただくためには、介護業界全体としての人材確保はもちろんながら、他職種との連携も大切になってきます。重要なのは、介護を受けながら住み慣れた地域で最期まで暮らせるための地域包括ケアシステムを実現すること。当法人としても、地域包括ケアシステムの実現に向けて、施設内整備を行うとともに、今まで培ってきたノウハウを活かした医療介護を提供できるよう、職員一同、邁進して参ります。

院内職員研修会報告「結核について」
28年5月開催　発表者：行野俊彦　先生

＜内容＞
①我が国の結核
②結核の症状
③高齢者の結核の臨床像
④結核の感染・発病
⑤院内感染
⑥法規

＜まとめ＞
結核菌が空気感染という感染経路であることから院内感染対策は多角的・総合的に実施していく必要がある。基本的な対策としては結核菌の　①除去　②密度の低下　③吸入防止　これに加えて感染を受けた人の　④発病予防　⑤早期発見　に万全を期するべきである。

院内職員研修会報告「医療安全について」
28年6月開催　発表者：医療安全委員会

＜内容＞
1. リスクマネジメント
『危険管理』または『危機管理』⇒危険を前もって予測し回避する事
2. アクシデントとインシデント
アクシデント…医療現場で医療全過程において発生する全ての人身事故
インシデント…患者に被害を及ぼすことはなかったが、日常の現場で「ヒヤリ」としたり「ハッ」としたこと
医療過誤…医療の過程において医療従事者が当然払うべき業務上の注意義務を怠り患者に障害を及ぼした場合
3. ハインリッヒの法則
突然重大事故が起きるわけではない。その前に小さな事故があり、その前に無数のヒヤリ・ハットの問題点がある
4. 報告書による情報収集
インシデントレポートや事故報告書は、実態把握・防止策の検討の情報であって、始末書ではない。
5. 医療事故防止のための基本
『当たり前の事をきちんとする』事が医療の質の向上

＜まとめ＞
安全は存在しない、医療事故は必ず起こる。しかし、私たちはそのリスクを下げることができる。

看護科　岩瀬　正子

先日、看護協会主催の「高齢者の不眠とケアについて」の研修会に参加して参りました。そこで今回は、高齢者だけでなく、私たちの健康にも関係の深い睡眠について、お話ししたいと思います。

成人では、平均１日５～８時間の睡眠（昼寝も含む）を取っており、その中で 90 分程度のレム睡眠、ノンレム睡眠を繰り返しています。ご存知のとおり、レム睡眠とは脳が動いている浅い眠り、ノンレム睡眠とは、脳も体も休んでいる状態のことを言います。質の良い眠りを誘導するには、日中の活動量や夜間の照明、周囲の音、においなども関係しています。寝る前にお風呂に入り体を温めることも、眠りを促すことにつながりますが、お風呂に入れない場合でも、足を温めるだけで効果があるようです。

当施設の高齢者の方々の中にも、夜間不眠を訴えたり、日夜が逆転したりしている方がいらっしゃいます。上手に睡眠導入剤を使用し、生活のリズムを作るのも、ひとつの方法だと思います。

ただ、高齢者の場合は、腎臓、肝臓の機能低下により、導入剤は、成人の２倍の効果が出るというデータもあるため、その場合は主治医と相談しながら内服の減量や見直しが必要と思われます。

また、他の薬との飲み合わせや、グレープフルーツなどの食べ物が効果を強めることもあるので、併せて注意が必要です。

梅雨の季節を迎え、まもなく寝苦しい夏がやってきます。質の良い睡眠で体調管理に努め、元気に夏を乗り切りたいものですね。

ミオ・ファミリア町田　イベント報告

第 30 回運営懇談会開催

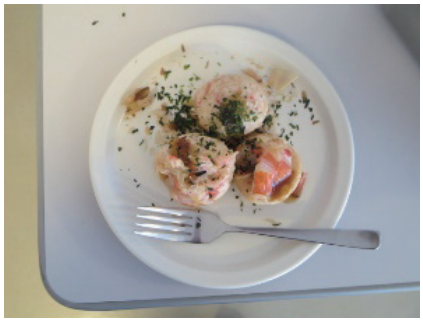
５月 14 日（土）、芙蓉ミオ・ファミリア町田において第 30 回運営懇談会が行われ、13 名のご家族が出席されました。四ケ所理事長の挨拶から始まり、施設長より「ホームのご説明」、看護科長より「梅雨の季節の健康管理」、ケアマネージャーより「くもんの取り組み」、介護主任より「３大介護、食事・入浴・排泄について」「イベントの報告」「安否ねっと」の説明、最後にご家族との懇談で閉会となりました。ご多忙の中、ご出席くださいましてありがとうございました。

ビンゴ大会

６月 16 日（木）ビンゴ大会を開催しました。ドキドキ、ハラハラしながら数字が揃うのを待ち、揃った方から景品をもらいます。景品、目覚まし時計や扇子、タオル、ぬいぐるみ等がありました。

たこ焼き

5月 19 日（木）、おやつにたこ焼きを作り、アツアツのたこ焼きを、ご入居者の皆様に召しあがっていただきました。中にはホタテと桜エビ、チーズも入れました。



クッキー作り

5月 23 日（火）クッキー作りを行いました。星形のクッキーはしっとりタイプ、ハリネズミのクッキーはココア味にしました。
ご入居者の皆様で、楽しく生地をのばし、型を抜き、焼いて、出来たてのクッキーを召し上がっていただきました。ご自分で作ったクッキーは、格別の味ですね。

パン de ランチ

6月 14 日（火）お昼に、パンバイキング「パン de ランチ」を行いました。数種類のパンが用意され、お好きなパンに具材をはさんで召しあがっていただきました。パンプキンスープと枝豆サラダ、デザートにはスイカもあり、楽しいランチタイムになりました。

医療法人社団芙蓉会 芙蓉ミオ・ファミリア町田
10周年 ご信頼いただいて
見学随時受付中
〒194-0004　東京都鶴間 544-2
TEL　042-788-3310　FAX　042-788-3312

計画作成担当　宮本　照美

グループホームあおぞらに入職し、6 年目になります。

ホームとのご縁は、ヘルパー免許を取得する際の実習で 2 日間お世話になった時からです。

入居者の方たちが自由に発言したり、歌ったり、お昼のメニューを決めて食事を作ったり、とても楽しそうに生き生きして見え、スタッフの方たちも笑顔が多く楽しそうに接していました。資格取得後に勤めるなら、ぜひ、ここにしたいと思いました。

入職当時は実習の時とは違い、不安と緊張でいっぱいでした。でも、先輩スタッフの方から、「教科書通りには、できないことの方が多いわよ。接しているうちにわかるようになるし、笑顔で話しかけてみたら。後は、分からないことがあったら、自分から聞いた方が覚えるわよ。」と言われました。

今でも迷ったときは、ホーム長をはじめ、ほかのスタッフの意見を聞き、少しでも良い判断ができるように努めています。

昨年 10 月より、公文の学習療法を始めました。名前が書けない方が書けるようになったり、「先月よりも計算のタイムを短くしたいわ」と意欲的に目標を定める方が増えました。また、スッタフにとっても、学習療法を通じて入居者の方たちとのコミュニケーションが、以前よりも取れるようになり、良い結果が出ていると思います。

これからも、法人創設者が残された「老人は国の宝」という言葉を大切にして、入居者の方たちもスタッフも、笑顔の絶えない魅力的な施設にしていきたいと思っています。

医療法人社団芙蓉会 **グループホームあおぞら** ・見学随時受付中・

東京都町田市鶴間 544（ふよう病院内）
TEL/FAX　042-795-2634
E-mail　aozorafuyou@fuyou.or.jp
URL　www.fuyou.or.jp/machida_aozora

グループホームあおぞら　イベント報告

ようこそ中庭へ！

春になり、中庭の桜が満開になりました。今年は病院、有料老人ホーム、デイサービス、芙蓉園から多くの方に訪問していただき、その数は、1 日に 100 名を超えることもありました。桜の次は大きな ぼたんです。中庭の草木の手入れは、すべてボランティアの方にお願いしています。いつも気持ちのこもった綺麗な花を咲かせて頂き、感謝しております。

ラケットを握れば‥‥

Uさんは、女学校時代からそうとうな腕前でいらした卓球の名手です。93 歳の現在でも、座りながらのプレイでスタッフを負かせてしまいます。そのうちに熱が入ってくると、痛くて立てないハズの足が‥‥ご覧のとおりです。

いくつになっても好きなことができるってイイですね。

にわのボランティア隊より

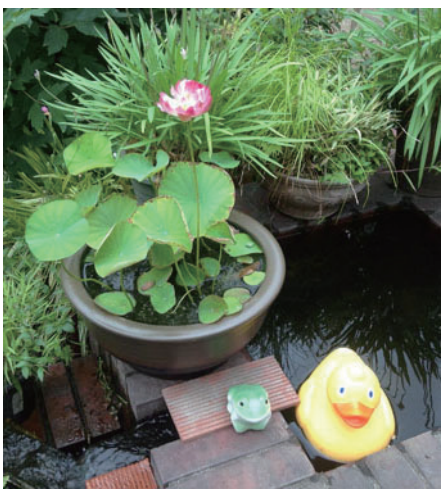
秋のコンクールに向けて始動

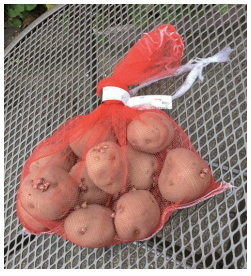
町田市で 40 年以上続く花壇コンクール。春、秋の年２回開催され、市内で約 350 団体が参加する「まちづくり事業」です。生育した苗を植えるのでなく「小さな苗」から数ヶ月かけて育てることもポイントのひとつ。その秋の花壇コンクールに向けて、準備が始まりました。デザイン、苗の受け取り、植付け。この作業が終わると「いよいよ夏が来るな」と感じます。今年の夏は、猛暑とか。どんな花壇となるか、お楽しみください。

6 月に楽しめる花々

○アガパンサス　○アジサイ　○蓮　○ギボウシ
○君子蘭　○梅収穫　○ジャガイモ収穫　○稲
○ミョウガ収穫　○皇帝ダリアの成長

コンクールに向けて、秋花壇いよいよ植え付け開始！





生活相談員　野村　悦子

「孝行のしたい時分に親はなし」ということわざを、意識する年齢になりました。親孝行とは、親を敬い、大切にし、心から尽くすことですが、介護が必要になった場合に自分に何ができるのか、親は何を望んでいるのかを真剣に考えることが重要だと思っています。
私の両親は、ありがたいことに健在ですが、遠く離れて暮らしています。もし介護が必要になった時、自分の生活スペースに呼び寄せることも選択肢の一つですが、本人たちは、住み慣れた場所で暮らすことを強く望んでいます。遠距離介護を続けていくのは大変ですが、親の意思を尊重し、介護サービスを上手く活用して、元気に長生きしてほしいと心から願っています。
ふれあいルームでは事務職に従事していますが、お出迎えや食事の配膳等をサポートする場面で、たくさんのご利用者と接する機会があります。限られた時間の中でのコミュニケーションですが、傾聴し、共感する姿勢を示すと、会話が弾み、笑顔が見られ、安心感を与えることができると実感しています。言葉によるコミュニケーションが難しいご利用者様に対しても、笑顔で接することを心がけています。ふれあいルームは生活リハビリを中心としたケアを行い、皆様に喜んでいただけるイベントを多数開催していますが、それ以上にご利用者の皆様や、ご家族様とのコミュニケーションを大切にしています。私も、これからもできる限り、スタッフの一員としてサポートしていきたいと思います。

デイサービスふれあいルーム　イベント報告

買い物ツアー

商品を選ぶ楽しさを体験していただこうと、買い物ツアーを開催しました。事前に参加を希望されたご利用者様と「東急ストア　中央林間店」へ出かけました。
皆様ウキウキ気分で中へ。女性はやはり洋服選びです。スタッフは値段やサイズ等ご利用者様の意向に沿って、より良い商品選びをサポートさせていただきました。食品売場では家族で食べられるお菓子等をご自分でレジに行き、お支払いされました。皆様久しぶりの買い物に満面の笑みで喜んでいただけたようで嬉しく思います。買い物ツアーは定期的に行ってまいりますので、また是非ご参加下さい。

５月の壁面飾り作り

ご利用者様に作っていただいたミニ鯉のぼりを鱗に見立てました。

あんぱん作り

本日のおやつは「手作りあんぱん」ご利用者様には生地が破れないように伸ばしながら、餡を包んでいただきました。
オーブンに入れ、焼きあがると、部屋中にパンのいい香りが漂って、幸せな気分になります。皆様、美味しいと召しあがっていただき、大成功。これからも色々なパン作りに挑戦していきます。

おにぎりパーティー

「さあ、お好みの具を入れて握ってください。」と声がかかると、鮭、昆布、梅等用意した具材を好きなだけ入れ、三角、丸、俵型等色々な形のおにぎりができあがりました。皆様美味しいと大好評。ご自分で握るおにぎりの味は最高ですね！

新入職員自己紹介

介護職　今泉 留美（いまいずみ るみ）
入浴介助のお手伝いをさせていただいております。ご利用者様がふれあいの入浴はリラックスでき、気持ちが良いと思っていただけるように頑張ってまいりますので、どうぞ、よろしくお願いいたします。

医療法人社団芙蓉会 **ふれあいルーム**
通所介護・認知症対応型　月～土 9：15～16：30
日曜日はお休みです

〒194-0004　東京都町田市鶴間 544-2
TEL　042-788-3302　FAX　042-788-3309

28年4・5月院内職員研修会報告「個人情報保護法について」
発表者　佐藤事務長

＜内容＞
　本来、個人情報取り扱い事業者は、あらかじめ本人の同意を得ずに個人データを第三者に提供してはならない。しかし、以下の場合は可能なことがある。
１、　法令に基づく場合
２、　人の生命、身体または財産の保護のために必要がある場合であって、本人の同意を得ることが困難であるとき
３、公衆衛生の向上、または児童の健全な育成の推進のために特に必要がある場合であって、本人の同意を得ることが困難であるとき
４、　国の機関もしくは地方公共団体またはその委託を受けたものが法令の定める事務を遂行することに対して協力する必要がある場合であって、本人の同意を得ることにより当該事務の遂行に支障を及ぼすおそれがあるとき
「警察や検察等捜査機関からの照会や事情聴取が該当すると思われる」
　具体的事例として、大規模災害や事故等で、

意識不明で身元の確認ができない多数の患者が複数の医療機関に分散して搬送されている場合に、患者の家族または関係者と称する人から「患者が搬送されているか？」という電話での問い合わせがあった場合。上記の２が該当し、患者の生命のために、「問い合わせに対応してよい」とのことでした。もちろん、相手の氏名等を確認し、患者の関係者であることを確かめることが必要です。
＜内容＞
　私たちは、患者様の個人情報を扱っているのだと、一人ひとりが改めて認識しました。

今年も　こいのぼり　天井に現る

　５月５日は、こどもの日。端午の節句とも言います。
　千葉芙蓉病院のあるこの地、松丘は山々に囲まれ、田園風景が広がるのどかな土地柄です。昔からあちらこちらのお宅の庭に、大きく空にたなびく鯉のぼりの光景が見られたものでした。田植えの始まる水田と山の新緑をバックに、それは美しいものです。
　しかし、患者様は戸外に出かけられない方がほとんどですので、千葉芙蓉病院では毎年、鯉のぼりが廊下の天井を泳ぎます。もちろん、鋲でとめるだけなので風にたなびくことはありま

せんが、その大きさ・迫力に、初めてご覧になった患者様・ご家族はびっくりされ、そして笑顔になります。
　風物詩のひとつとして定着している光景です。

K‘Sクッキング

　きゃらの樹ケアセンターの通所リハビリにおいて、食事サービス部より、デイケアご利用者様に、食事に対しての満足感を向上していただくとともに、自ら作品を完成させる喜びも味わっていただこうと、毎月いろいろな企画を立てて実施しております。４月には「あんみつを食べよう」、５月には「プリンア･ラ･モードを作ろう」を実施し、皆様にご好評いただきました。おいしいもので心も体も満たされて、元気に暑い夏を乗り切っていただきたいですね。

きゃらの樹・大運動会

５月 26 日、きゃらの樹ケアセンターのリハビリ室において、毎年恒例の運動会が行われました。参加者は総勢 73 名です。今年は全員参加型の競技で構成され、職員対抗の種目も加わったことでとても盛り上がりました。最終結果は赤・白引き分けにて終了しました。

ご利用者様より『あぁ楽しかった。みんな盛り上がりましたよ。来年も楽しみね。』と声をいただきました。

地域住民（広岡上部自治会）との防災懇談会を開催　合同開催

４月 23 日に行われた地元自治会との防災についての話し合いは、１回目の施設見学会に続き、今回で２回目。今回は意見交換と非常食の紹介および作り方の実演でした。（自治会長さんにもご協力いただきました。写真右）

ちょうど熊本地震の直後の開催であったため住民の皆さんの関心も高く、活発な意見が出されました。災害時に私たち法人に何ができるのか、また、住民の皆さんからどのような協力が得られるのか確認し、相互でつながりを深めました。また、地元の市会議員にも出席いただいたことで、その後の君津市危機管理課と消防長との話し合いの契機となりました。

屋上でミニトマトを栽培

ご利用者の皆様とミニトマトの栽培を始めました。手馴れた様子で率先して苗を植え、水遣りを行ってくださった方、その様子を見学されていた方、皆様、始終笑顔でこの時間を過ごされていました。きっと、収穫の時期を想像して笑顔がこぼれていたのでしょう・・・

真っ赤に育ったミニトマトの収穫が待ち遠しいですね！